



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

さくら

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 - 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会長 上野三郎
幹事 佐藤順治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 954 号

1978. 4. 25 (火) (曇)

No.41

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (我等の生業)
3. ビジター・ゲスト紹介
4. 会長報告
5. 幹事報告
6. 「財団の杖」について 国際奉仕委員長 佐藤 忠君
7. 会員スピーチ 米山週間について 阿部 襄君
8. お礼の御挨拶 米山奨学生 葵 慶隆君
9. 地区 I.C (山形県) 指導者講習会及び庄内分区 I.C 合同例会
I.C 委員長 中江 亮君
I.C 委員 小松 広穂君
安藤 定助君
10. 第273地区大会に出席して
11. 出席報告
12. 点 鐘

■ ビジター紹介

佐藤五右工門君 (請 負) 温海R.C
半田 勇三郎君 (生命保険) 鶴岡西R.C
清野 源太郎君 (電気販売) 山形西R.C

■ 会長報告

1. 去る4月22日～4月23日 273地区の年次大会が、兄弟クラブの鹿児島西クラブのホストで開催され、三井徹君ご夫妻と安藤定助君が参加されました。両君に託して、会長名で鹿児島西クラブ会長宛のメッセージを送り、又会員一同名で先方クラブの皆さんのご苦労をしのび、大会の成功を祈るという意味の電報を打ちました。
2. 4月20日 新穂光一郎君のご母様がなくなられました。I.C.G.Fの関係で4月23日のご葬儀に参列出来ませんでしたが、前日、会長・幹事がクラブ規定の香奠を捧げてご焼香してまいりました。
3. 4月23日(日)立川町コミュニティーセンターにおいて I.C.G.Fが分区内9クラブから167名が参加して開かれました。立川町長を来賓に迎え、加藤ガバナーも午後から出席され、4大奉仕部門について夫々4人のモデレーターの司会で勉強会がもたれました。各部門の勉強会の内容は、今後発言者から夫々ご報告あると思いますが、私が発言した社会奉仕部門についてご報告いたします。

テーマは「ロータリークラブが寄付団体、慈善団体にならないための社会奉仕、実践し行動する社会奉仕は」と云うもので冒頭、村上モデレーターからロータリーにおける社会奉仕の基本的考え方は、セントルイス大会決議23-34につきるとして、その概要の説明がありました。

ロータリーではどこまでも個人の奉仕を奨励しているのであって、クラブとして社会奉仕をするたてまえになっていないこと、又他人にモノをほどこすのではなく、各自の職場を通じ、家庭を通じ、同業者を通じ、一般市民を通じて啓発、啓蒙し、且つ自らが実践してゆく方法をとるのがロータリーの社会奉仕の本来の姿であるということでした。このあと、各クラブから奉仕の事例の発表がありました。私にとっては、ロータリーの社会奉仕の基本的考え方をきいたことが最大の勉強でありました。

最後に早坂アドバイザーからは、神戸の年次大会で開かれた英国での事例をあげられ、ロータリーの社会奉仕の本来のあり方について、わかり易く解説されると共に、クラブの財政、その他の事情が許せば勿論、地域のニーズにマッチした寄付や慈善事業も大いに結構であるというお話がありました。

4. 4月28日(金)オープンされるグランド・エルサンより披露宴へご招待をいただきました。

■ 幹事報告

1. 会報到着
(1) 山形R.C (2) 山形西R.C (3) 山形北R.C (4) 山形南R.C
(5) 小国R.C (6) 藤沢東R.C (7) 酒田東R.C

■ 「財団の杖」について

国際奉仕委員長 佐藤 忠君

会員皆様の御協力によりまして¥43,732が集まりました。御協力に深く感謝申し上げます。

■ 会員スピーチ 米山週間について

阿 部 襄 君

4月22日から1週間は、米山財団週間になりますが、丁度この度、山大農学部
の学生を奨学生にさせて頂きましたのでお礼を兼ねて、奨学制度のことをお
話し申し上げたいと思います。

国際ロータリーには、ご承知の通りロータリー財団の奨学金制度があります。
これは日本の学生を海外の大学、研究所に留学させる制度で、奨学金はドルで
支給されるものだそうです。米山奨学会の方は、日本だけにある制度で主として
東南アジアから日本に留学する学生に、より深い学問や、より高い技術を習
得してもらうために、奨学金を出して援助するものであります。そして目的を
達するために、米山奨学生には推薦 R.C から、カウンセラーを出して学生の
いろいろな相談相手になるのだそうです。

この度、鶴岡 R.C から推薦して頂きました台湾からの留学生、葵 慶隆 君
(農業機械専攻3年)が、幸に米山奨学生として採用して頂きましたが、会長
・幹事さんのお話で、わたしがカウンセラーを依頼されました。この任務は、
奨学金支給のお世話、報告書の作製、指導教官との接触などをして留学生の手
助けをすることだそうです。

尚、毎月 R.C の第1例会には留学生を出席させて頂くことになるようで
すが、今後何かと会員の皆様のお世話になることが多いと思います。この度鶴岡
R.C の御推薦で 山大の留学生が、米山奨学生として御採用頂きましたことに
深く御礼を申し上げます。またこのきっかけを作って下さった石黒先生を始め、
会員の皆様に感謝申し上げ学生御指導・御援助を賜りますようお願い申し
上げたいと思います。

■ 1978年度 R. I 第253地区 I. C 指導者講習会 (山形県) 及び庄内分区 I. C 合同例会

I. C 委員長 中 江 亮 君

I. C 委員 小 松 広 穂 君

今年度は一寸企画を変え、全員指導者となる事から考え、合同例会を兼ねて
指導者講習会を行なった。A.M10:30より佐原地区委員長の挨拶迄型通りのセ
レモニーが行なわれ A.M11:10よりは指導者研修として個人、家庭、他人、社
会、国家、世界というテーマを以て研修、2~3人のロータリアンよりも活発
な意見が述べられ盛況裡に P.M 1:20研修を終了、来年度もこう云った企画の
もとに合同例会を持つよう大多数の I. C より希望があった。昼食後、レクリ
エーションがあり、フォークダンスも気分をほぐし P.M 2:40頃は人出一杯、
桜満開の鶴岡公園に全員出勤、大きなビニール袋数10箇に一杯のゴミを集め
P.M 4:00 とどこ取りなく終了した。

尚、中江 I. C 委員長は綿密な計画を立案、各 I. C 顧問教師との困難な連絡
等に当たられ、又当日はアドバイザーとして適切な助言を与えられた事に対し
て感謝の外ありません。

■ 第273地区年次大会 (鹿児島) 参加報告

安 藤 定 助 君

去る22日(土)~23日(日)姉妹 R.C 鹿児島西 R.C がホスト、外に鹿児
島4 R.C がコ・ホストのもとに鹿児島市で開催された。国際ロータリー第273
地区(大分、熊本、宮崎、鹿児島)年次大会に三井徹君御夫妻と共に出席して
参りました。

大会参加者は R. I 会長 W・ジャック・デービス代理、西田武雄氏を始め、
地区外 韓国北釜山 R.C、西釜山 R.C の外25 R.C、地区内74 R.C から2,100

名で実に厳粛の中に友愛に満ち溢れる大会でした。

本会議の会場は文化センターで P.M 1:00 の点鐘で開催され声楽界の大御所藤山一郎先生のリードで素晴らしいロータリーソングの大合唱があり、型通りプログラムが進行されましたが、特に感銘深かったものは山之口鹿児島市長のユーモアたっぷりの鹿児島宣伝をかねた祝辞に万場の人気を集め、又「全人類を結びつけるロータリー」のテーマでシンポジウムが行われ、4人の発言者は夫々にマンネリ化しつつあるロータリー、行動がうすれつつあるロータリー、不況下、事業の不振、倒産等にさらされた同友に対する無関心等を厳しく指摘され、之等を改めなければ人類を結びつけるロータリーにならないと感銘深いシンポジウムでした。

又、アトラクションはピアニスト福田和香子先生、エレクトニスト桐野義文先生の伴奏で藤山一郎先生の声楽でしたが、唯声楽家が歌うだけでなく歌唱の歴史を説かれ乍ら折々に懐しい思い出の歌を会場の会員に合唱させ或は奥様達だけとか、若い人だけとか盛んに「行動するのがロータリーだ」と呼び掛け、歌わせ之が参加者の友愛の情と和らかさをいやが上にも盛り上げました。希望懇親会は P.M6:20 より会場をサン・ロイヤルホテルに移して行われましたが、地区大会にはまれに見る豪華、豊富な御馳走で大変秩序ある和らかな懇親会でした。

第2回本会議は翌23日 A.M 9:00 より開会、R.I 会長代理の R.I 現況報告と「私達とロータリー」のテーマで行われた、ロータリー財団奨学生、米山記念奨学生、国際青少年交換学生、ローターアクト、インターアクト夫々の代表6名の発言は非常に感銘深く、ロータリーの青少年奉仕の重要性を再認識いたしました。鹿児島西 R.C の現会長は河井時義君で柴山一雄君は大会幹事、外西寿彦君は大会副幹事、中村善治君は大会 S.A.A を務められ 参加者2,100名の大会運営は実に素晴らしく敬服の限りでした。

なお姉妹クラブは当クラブよりの参加を非常に喜ばれ祝電も披露され口々に「帰ったら皆様によるしく」「鶴岡クラブの20周年記念には家族連れで行くから」と呉々もよろしく伝える様言い付かって参りました。出発の前日手折って持参した鶴岡の桜花を西郷先生、伴、榊原少年の墓前に供え絵ローソクを点じて礼拝し、この桜花を山之口鹿児島市長に兄弟都市の桜花を眺められるよう贈り大変喜ばれました。

半日、一夜、半日の時間のないあわただしい参加でしたが、その内容は本当に充実した感謝深いものでロータリーに学んだ「多くの人と知り合う」ことの友情の楽しさや有難さを今更に痛感した次第です。

出席報告

本日の出席	会員数	69名	欠	板垣(俊)君、玉城君、上林君、黒谷君、 中村君、板垣(広)君、鷺田君、新穂君、鈴木(善)君、佐藤(元)君
	出席数	59名	席	
	出席率	85.51%	者	
前回の出席	前回出席率	81.16%	メア	三井(健)君一天童 R.C 笹原君一仙台 R.C 安藤君、早坂(源)君、玉城君、風間君、 黒谷君、中野(清)君、鷺田君、手塚君 一鶴岡西 R.C
	修正出席数	66名	トッ	
	確定出席率	95.65%	クラブ	